

令和 7 年度 建設外部評価委員会

社会資本総合整備計画

* 社会資本整備総合交付金

* 防災・安全交付金

公園部整備課



防災・安全交付金

①安全・安心で快適な公園づくり(防災・安全)

②長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新

(防災・安全)



① 安全・安心で快適な公園づくり(防災・安全)

- * 緑の基本計画での位置づけ
- * 整備計画の内容
- * 交付対象事業
- * 事業の概要
- * 事業効果の発現状況、目標値の達成状況
- * 特記事項



緑の基本計画での位置づけ

① 展開されるゾーン

- ▶みどりのゾーン ～いのちをまもり育む緑～
- ▶まちのゾーン ～彩りと潤いのある緑～
- ▶田園のゾーン ～実り豊かな緑～
- ▶ゾーンのつながり ～水と緑のネットワーク～
- ▶協働と参画 ～みんなで支える緑～

緑の基本計画での位置づけ

② 施策の展開と取り組み

● まちのゾーン

方針▶緑の資産を適切に維持管理・更新し、利活用を促進することで
安全で快適な空間をつくる

取り組み▶時代のニーズに対応した公園施設等のリニューアルと適切な保全

- ▶公園等の安全性の向上とバリアフリー化
- ▶シンボルとなる公園の魅力向上
- ▶街路樹により風格あるまちなみづくりや心地よい木陰の確保

整備計画の内容

● 計画の期間

- ▶ 令和2年度～令和6年度(5年間)

● 交付対象

- ▶ 神戸市

● 計画の目標

- ▶ 長寿命化計画や都市公園バリアフリー整備方針等に基づき、老朽化した公園施設の改築・更新や、園路広場・便所等のバリアフリー化を進める。
- ▶ それにより、誰もが安全で安心して利用できる快適な公園の実現を目指すとともに、公園施設に係るライフサイクルコストの縮減を図る。

整備計画の内容

● 計画の成果目標(定量的指標)

▶公園(園路広場)のバリアフリー化率
54%(R2当初) ▶ 59%(R6末)

▶公園(便所)のバリアフリー化率
46%(R2当初) ▶ 60%(R6末)

▶公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化や劣化により更新が必要な遊具等について20公園で更新を進める。(R2年度のみ)

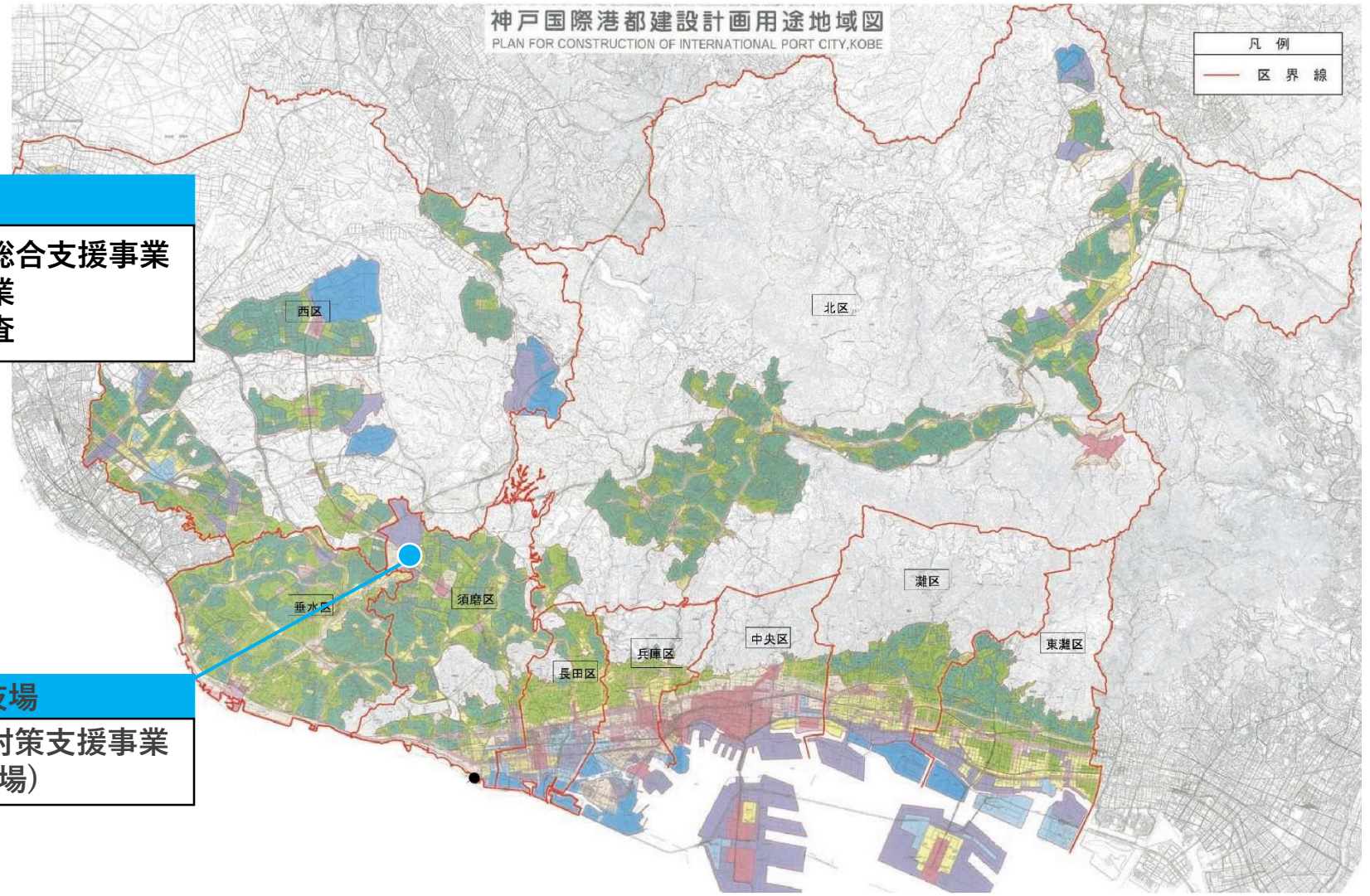
交付対象事業

全区共通(市内全域)

- 【A-1】都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業
- 【A-2】公園施設長寿命化対策支援事業
- 【A-3】公園施設長寿命化計画策定調査

ユニバー記念競技場

- 【A-4】公園施設長寿命化対策支援事業
(ユニバー記念競技場)



事業の概要

【A-1】都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

事業者：神戸市

内 容：公園における園路広場のバリアフリー化等

事業実施期間：令和2年度～令和6年度

全体事業費：278百万円

【A-2】公園施設長寿命化対策支援事業

事業者：神戸市

内 容：公園施設の改築・更新

事業実施期間：令和2年度※

全体事業費：38百万円

(※令和3年度以降、長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新(防災・安全)に移行)

事業の概要

【A-3】公園施設長寿命化計画策定調査

事業者：神戸市

内 容：長寿命化計画改定のための調査業務

事業実施期間：令和2年度～令和5年度

全体事業費：86百万円

【A-4】公園施設長寿命化対策支援事業(ユニバー記念競技場)

事業者：神戸市

内 容：ユニバー記念競技場舗装改修

事業実施期間：令和5年度

全体事業費：534百万円

各事業の概要

【A-1】都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

● 対象公園

- ▶ 池上中央公園他76公園

● 整備内容

- ▶ 園路段差解消・スロープ化、便所改築等

● 整備状況

- ▶ 公園施設（園路広場や便所等）の利便性及び安全性の向上を目的にバリアフリー化を実施した。

各事業の概要

【A-1】 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

▶ 水飲み台の整備前後 | 東田井公園

各事業の概要

【A-1】都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業



▶トイレ再整備前（外観）
池上中央公園



▶トイレ再整備後（外観）



▶トイレ再整備後（内観）

各事業の概要

【A-4】公園施設長寿命化対策支援事業（ユニバー記念競技場改修）**● 工期**

▶令和5年度

● 整備内容

▶舗装改修

● 整備面積

▶11,236㎡

● 整備状況

▶日本陸連第1種公認、WA Class2の認証を取得し、世界パラ陸上競技選手権大会等の開催が可能となった。

各事業の概要

【A-4】公園施設長寿命化対策支援事業(ユニバー記念競技場改修)



▶再整備前



▶再整備後

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ▶ 都市公園の園路広場や便所について、継続してバリアフリー化を行った結果、バリアフリー化対象公園の半数以上において誰もが安全安心に利用できる環境が整った。

● 費用便益費B/C（総合運動公園）

- ▶ 当初B/C 1.77 → 整備後B/C 1.77

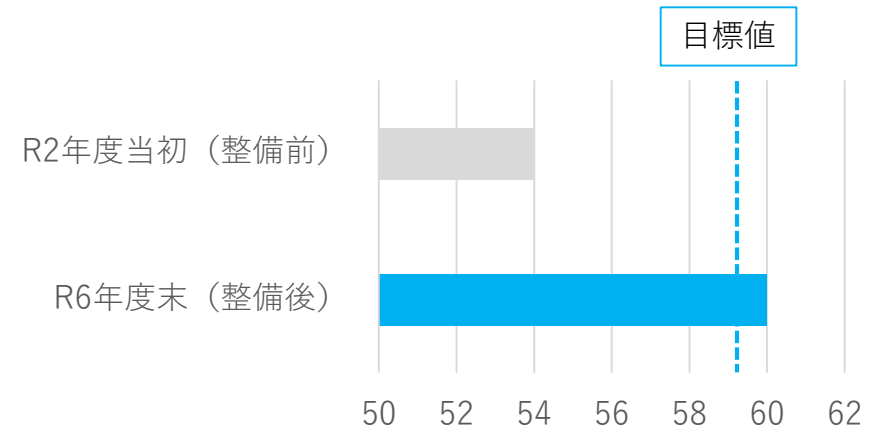
【大規模公園費用対効果分析手法マニュアル（国土交通省）による】

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

II 定量的指標の達成状況

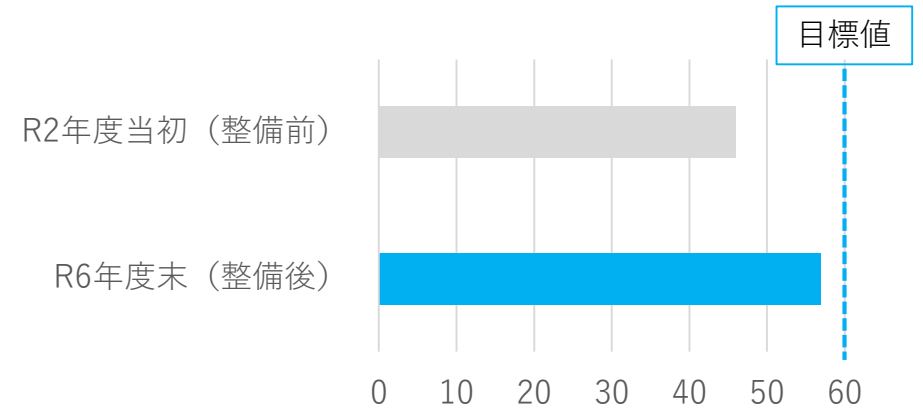
● 公園(園路広場)のバリアフリー化率

54% (R2当初) ▶ 60% (R6末)
59% | 目標値



● 公園(便所)のバリアフリー化率

46% (R2当初) ▶ 56.9% (R6末)
60% | 目標値



便所の建設費高騰や、バリアフリー基準の変更により、整備費が増大したため、目標には達していないが、引き続き取り組みを進め、R7年度中に達成予定

(3公園)。

事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

- ▶ バリアフリー化と合わせて、他の公園施設の改修も実施することで、公園全体のリニューアルを実施し、利用者に安全で魅力のある空間を提供することができた。



▶ 再整備前 | 住吉川公園



▶ 再整備後 | 住吉川公園

特記事項

- ▶ 今回の整備により、整備計画に定める園路広場のバリアフリー化率は60%と目標を達成した。
- ▶ 整備計画に定める便所のバリアフリー化率60%については未達成のため、継続的に公園施設バリアフリー化の推進に取り組んでいく。
(R7年度中に達成予定)